

(資産運用) : 2023 年、投信市場で外国債券投資が復活？

2023 年は上半期こそ投信販売にやや陰りがみられたが、下半期はインデックス型の外国株式投信が販売を牽引し、2021 年、2022 年並みに投信が売れた。また、米国を中心に先進国債券の利回りが上昇してきたこともあり、為替ヘッジしていない外国債券投信も 2023 年に売れ、外債投資に注目する人も多かった様子である。

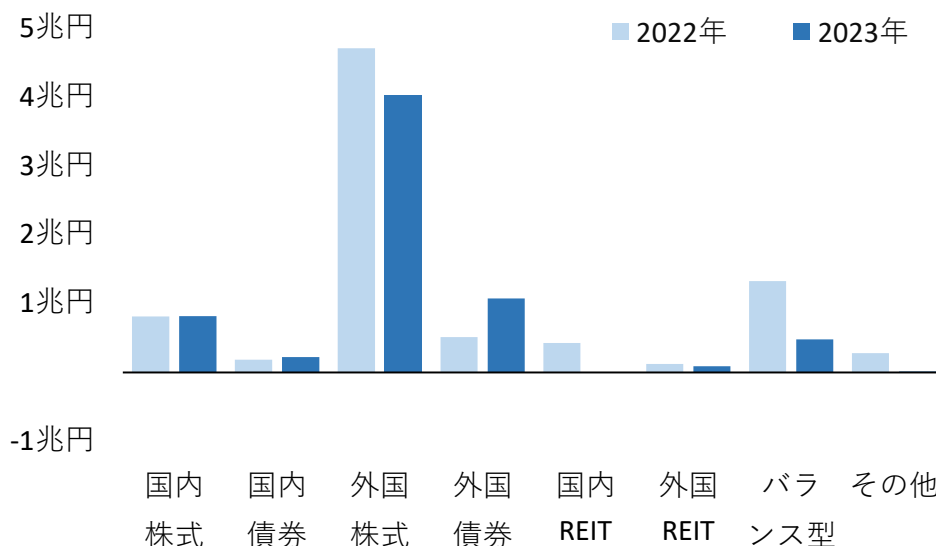
2023 年は、追加型株式投信（ETF を除く。以後、投信）に 6 兆 7,000 億円の資金流入があった。2021 年の 9 兆 6,000 億円、2022 年の 8 兆 4,000 億円と比べると減少した。2023 年は下半期に限ると 4 兆 6,000 億円と 2021 年、2022 年並みの資金流入であったが、上半期に 2 兆 1,000 億円の資金流入とやや落ち込んだのが響いた。

投信の資金動向を組入れられている資産別にみると、2023 年は全資産で資金流入があった【図表 1】。特に外国株式投信に 4 兆円の資金流入があり、相変わらず組入資産別だと最大であったが、2022 年の 4 兆 7,000 億円からは減少した。外国株式投信の中では、アクティブ型が 4,000 億円の流入にとどまり、2022 年の 1 兆 5,000 億円から 3 分の 1 に大きく減少した【図表 2 : 左】。

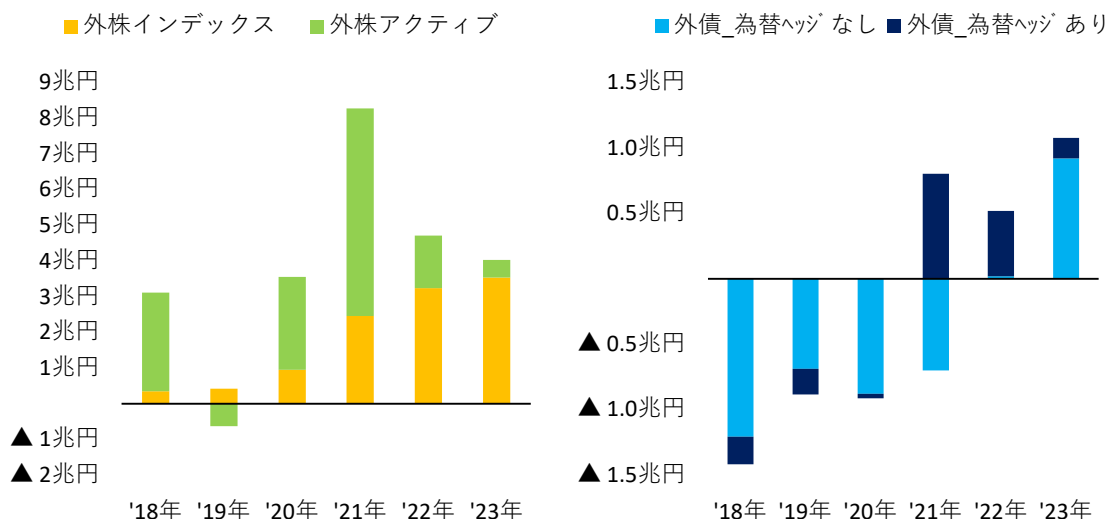
アクティブ型の外国株式投信は 2020 年や 2021 年に大規模な資金流入があったものを中心に資金流出があり、流出超過になる月も多かった。2023 年は米国株式など世界的に株価が上昇し、さらに円安も進行したため、ほとんどの外国株式投信で基準価額が上昇した。2、3 年前に外国株式投信を購入した投資家にとっては絶好の利益確定のタイミングになった様子である。

それでもアクティブ型の外国株式投信全体でみると毎月分配型やインド株式のものが売れたため 2023 年通してだと流入超過となった。毎月分配型は 2023 年も相変わらず人気であったが、来年から始まる新 N I S A では購入不可になっている。毎月分配型投信、さらにはアクティブ型の外国株式投信の販売動向が 2024 年以降、どのようになるのか注目される。

図表 1 : 追加型株式投信（除く E T F）の資金流出入



(資料) Morningstar Direct より筆者作成。イボットソン分類を用いて集計。

図表 2：外国株式投信（左）と外国債券投信（右）の資金流入の推移


（資料）Morningstar Direct より筆者作成。イボットソン分類を用いて集計。

その一方でインデックス型の外国株式投信には 3 兆 5,000 億円の資金流入があり、2022 年の 3 兆 2,000 億円を超えて過去最大となった【図表 2：左】。ただ、インデックス型の外国株式投信でもアクティブ型のように流出に転じることはなかったが、4 月と 5 月は月間の流入額が 2,000 億円を下回るなど流入が鈍化していた。しかし、6 月以降は毎月 3,000 億円程度の資金流入が続き、特に 9 月、10 月は 4,000 億円と月間でも過去最大の資金流入があり、投信販売を牽引した。

インデックス型の外国株式投信の販売が 2023 年 6 月以降に好調だった背景には、やはり新 N I S A の影響があるだろう。実際に 2023 年 9 月末までの情報になるが、つみたて N I S A は 2023 年 7-9 月に四半期の口座開設が過去最大となり、906 万口座まで増えている。口座の増加に伴って買付も順調に増えてきており、その影響がインデックス型の外国株式投信に出ていると考えられる。インデックス型の外国株式投信は新 N I S A でも中心商品になることが見込まれており、今後ますます投信市場での存在感が増すだろう。

また、2023 年は外国株式投信だけでなくバランス型投信や国内 R E I T 投信も資金流入が 2022 年から鈍化した。唯一、外国債券投信には 2023 年に 1 兆 1,000 億円の資金流入があり、2022 年の 5,000 億円から倍増した【図表 2：右】。

外国債券投信は 2021 年から 3 年連続の資金流入となったが、2021 年、2022 年は預金・国内債券の代替として為替ヘッジしている外国債券投信が販売を牽引した。しかし、2023 年は日米金利差拡大等で為替ヘッジのコストが高騰したためか為替ヘッジしている外国債券投信の販売は鈍化し、一部では売却も出たが、それ以上に為替ヘッジしていない外国債券投信が売れたため、外国債券投信全体でみて資金流入が増加した。2022 年からの世界的な金融引締めに伴って、米国を中心に先進国の債券利回りが上昇してきており、為替リスクを取ってでも外国債券に投資する人が増えたのかもしれない。

2024 年は日米の金融政策の動向次第では債券市場や為替市場が大揺れになる可能性がある。2024 年の投信市場では新 N I S A の開始に伴い販売動向にどのような影響があるかが注目されるが、それと合わせて外国債券投信の人气が継続するのかどうかにも注目したい。

（前山 裕亮）